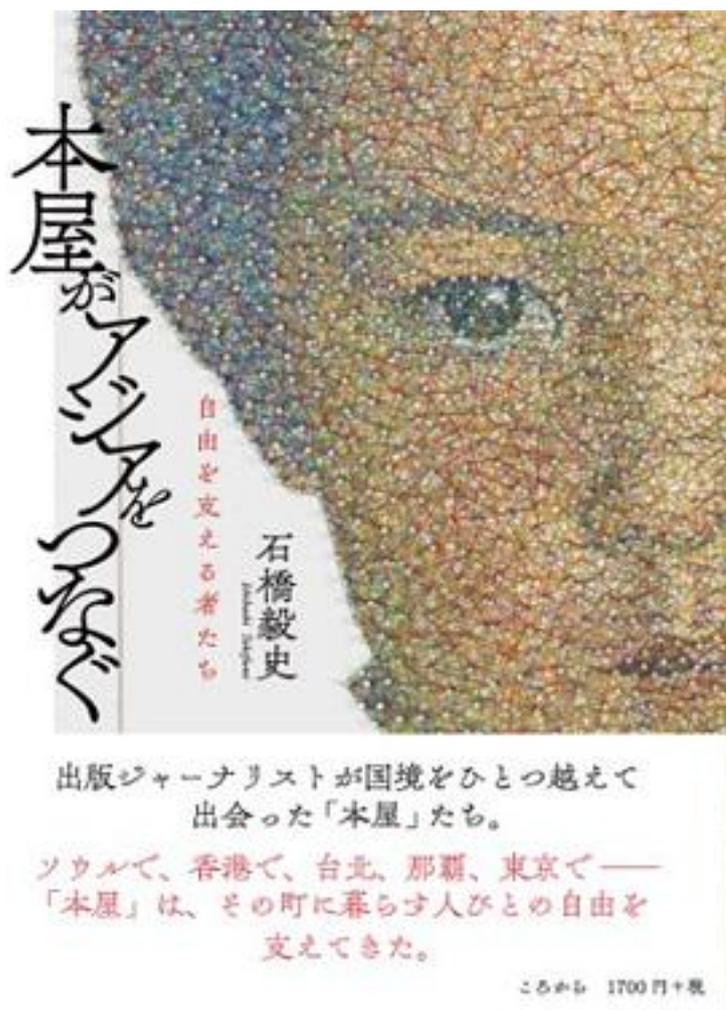


本屋がアジアをつなぐ



[本屋がアジアをつなぐ_ダウンロード1](#)

著者:石橋毅史

出版者:ころから株式会社

出版时间:2019-8-15

装帧:単行本（ソフトカバー）

isbn:9784907239411

スマートフォン、タブレットが普及し、減少傾向にあるとはいえ、今でも新しく本屋を

オープンする人がいて、そこに足を運ぶ人たちがいる。著者は日本の現状と似たものを感じ、韓国、中国、台湾の本屋を巡り、そこで何が起きているのかを探るうちに、独自の政治的メッセージを打ち出すことをためらわない、日本の本屋とは異なる姿勢を持つ本屋を目の当たりする。似ているようで似ていない、でもやっぱり似ている、一つだけ国境を越えた向こうにある本屋を巡る。出版ジャーナリストの石橋毅史が出会ったアジアの「本屋」たちの物語り。東京新聞の連載コラムに、香港・銅鑼湾書店の元店長独占インタビューなどの書き下ろしを追加して単行本化。

作者紹介:

石橋毅史 (いしばし・たけふみ)

1970年東京都生まれ。日本大学芸術学部卒。出版社勤務を経て、出版業界専門紙「新文化」の記者、編集長を務める。2010年フリーランスとなる。著書に『「本屋」は死なない』(新潮社)、『口笛を吹きながら本を売る』(晶文社)、『まっ直ぐに本を売る』(苦楽堂)、『本屋な日々 青春篇』(トランスビュー)など。『「本屋」は死なない』が台湾で閲読職人大賞(2013年)を受賞している。

目録: はじめに一町に本屋が生まれつづける理由

- 1 身の丈の本屋にできること 東京・チェッコリ
 - 2 午前零時の熱気 台北・誠品書店
 - 3 「1冊は買って」メッセージボードの意味 槐山・森の中の小さな本屋
 - 4 「党外人士」を知る 台湾・台北
 - 5 ヘイトも呑みこむ闘技場 (アリーナ) 大阪・ジュンク堂書店難波店
 - 6 「独立」ってなんだろう? 新北・小小書房
 - 7 僕たちの日韓交流
 - 8 100年前の本屋に出逢う 上海/東京・内山書店 (1)
 - 9 全身で中国に学ぶ 上海/東京・内山書店 (2)
 - 10 笑顔の博愛主義者 上海/東京・内山書店 (3)
 - 11 100年の先へ 上海/東京・内山書店 (4)
 - 12 スーザンに教わる東アジア 東京・神保町古書店街
 - 13 「ACG」の本場で 東京・アニメイト池袋本店
 - 14 「ことば」から入る沖縄 那覇・市場の古本屋ウララ
 - 15 隣国に届いた曖昧な言葉 東京・岩波ブックセンター
 - 16 POP1枚の力 東京・くまざわ書店南千住店
 - 17 未来を描く前に 名古屋・シマウマ書房
 - 18 「5・18」の思想的指導者 韓国・「民主化」と本屋 (1)
 - 19 1997・4・15 韓国・「民主化」と本屋 (2)
 - 20 受け継がれるもの 韓国・「民主化」と本屋 (3)
 - 21 揺れる香港を歩く 銅鑼湾書店・林榮基の闘い (1)
 - 22 自由を求めて逃走中 銅鑼湾書店・林榮基の闘い (2)
- 旅のおわりに
..... (收起)

[本屋がアジアをつなぐ_ダウンロード1](#)

标签

石橋毅史

書話

書店

日文

书店

评论

[本屋がアジアをつなぐ_ダウンロード1](#)

书评

[本屋がアジアをつなぐ_ダウンロード1](#)